

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 5月12日更新

事務事業名	まちづくり事業提案制度事業				<input checked="" type="checkbox"/> マネジメント 関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	1	自治の健康		所属部	市長公室	
	施策	1	市民参画によるまちづくりの推進		所属課	企画課	
	施策の柱	2	地域づくり(まちづくり)活動機会の確保		所属班	企画広報班	
予算科目	会計 一般	款	項	目	事業連番	根拠 法令	市まちづくり事業提案制度要綱
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	自治基本条例の理念に基づき、市民や民間の事業者、団体などから、まちづくりのための提案を募集し、市政に反映させることを目的として「合志市まちづくり事業提案制度要綱」を制定。(平成23年11月制定)
【業務の流れ】	①事業提案があった場合、担当課は企画課と打合せの上、実施の可能性を判断する。 ②可能性ありと判断した場合、担当課はその提案に基づき、新規のマネジメントシートを作成する。 ③政策推進本部会議で2次評価を行い、適切と判断された場合は、認定手続き(決裁)を行い、認定証の交付を行う。 ④認定後は、事業実現に向けた取り組みを行う。
【主な予算費目】	予算計上なし
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	農福連携による人が集まる地域活性化事業で1件事業認定があった。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 要綱に基づく周知及び提案の募集(広報、ホームページ) 政策推進本部会議における認定検討
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 ア: まちづくり提案制度周知回数 → イ	予算の主な増減の理由 予算計上なし
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人 ア: まちづくりに関する提案を行なった人 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	まちづくりに参画することができる	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 件 ア: 採用された提案の件数 → イ
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠 まちづくりの推進ができる		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度 実績(決算)	3年度 実績(決算)	4年度 目標(当初予算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	6年度 予定	7年度 見込	8年度 見込	
① 活動指標	ア	回	0	1	1	1	1	1	1	1	
	イ										
② 対象指標	ア	人	0	0	1	1	1	1	1	1	
	イ										
③ 成果指標	ア	件	0	0	1	1	1	1	1	1	
	イ										
投資 入 費 量	財源 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	1	0	2	0	0	0	0
		延べ業務時間	時間	10	10	0	102	0	0	0	0
(B) 人件費計	千円	39	39	0	388	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	39	39	0	388	0	0	0	0		

事務事業名	まちづくり事業提案制度事業	所属部	市長公室	所属課	企画課
-------	---------------	-----	------	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 自治基本条例周知とあわせて、事業提案制度を周知していくことやHP等での事業認定記事とあわせて募集を呼びかけることで目標を達成したい。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 提案された事業は、実現に向けた検討を前提としている。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の事務で行っているため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 参画及び協働のまちづくり推進のため、広く市民へ向けて募集しており、公平公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 広く市民からの意見を求めるものであり、執行機関としての市の役割である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

これまでに認定された事業が形ばかりとなっているものが多くみられる。提案事業所管課に提案事業を活用した取り組みを促す必要がある。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						